

コレステリン結晶を含んだ精液瘤の1例

紀南病院泌尿器科 (医長: 曾我倫久人)

曾 我 倫久人

三重大学医学部泌尿器科学教室 (主任: 杉村芳樹教授)

杉 村 芳 樹

SPERMATOCELE ASSOCIATED WITH CHOLESTEROL CRYSTALS

Norihito SOGA

From the Department of Urology, Kinan Hospital

Yoshiki SUGIMURA

From the Department of Urology, Mie University School of Medicine

A 53-year old man first recognized swelling of the left scrotum five years ago. Ultrasound examination revealed spermatocele, consisted of two layers, fluid area and hyperechoic sediment. Cloudy fluid containing a large amount of cholesterol crystals was aspirated from the spermatocele.

To the best of our knowledge, this case is the first spermatocele with cholesterol crystals in the Japanese literature.

(Acta Urol. Jpn. 49: 229-230, 2003)

Key words: Spermatocele, Cholesterol crystals

結 言

陰嚢内腫瘍として、陰嚢水腫と精液瘤は頻繁に見られる疾患である。そのうち精液瘤は精巣上体と精巣の境界部、あるいはこれと接した上方に発生するとされており、穿刺内容液に精液が混入していることが特徴とされるが、結晶の混入は稀である¹⁾。今回われわれは、精液瘤の内容液にコレステリン結晶を大量に含有した症例を経験したので若干の文献的考察を加えて報告する。

症 例

患者: 53歳, 男性

既往歴 家族歴: 特記すべきことなし

現病歴: 2002年2月より左腎結石にて当院外科で経過観察されていた。5年前より左陰嚢内の腫瘍が自覚されており、今回泌尿器科開設にあたり紹介受診となった。

理学的所見: 左陰嚢部は超鶯卵大に腫脹し、透光性は存在した。疼痛は存在しなかった。

超音波画像所見: 陰嚢内に低エコー域の水腫が存在し、底部にエコー高度の高い沈澱物を示す領域が認められた (Fig. 1)。精巣上体の腫大は存在せず、精巣上体嚢胞は否定的であった。

陰嚢水腫もしくは、精液瘤と考え、18 G サーフロ

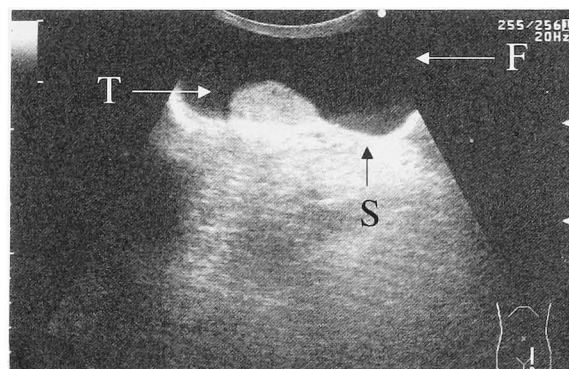


Fig. 1. Ultrasound sonography demonstrated spermatocele consisting of fluid with sediment (T: testis, S: sediment, F: fluid).

針にて穿刺、内容物を吸引した。内容液量は 200 ml であり、性状はやや白濁し黄褐色を示していた。細胞診は class I、穿刺液の沈渣において、少量の精子と多量のコレステリン結晶が存在した (Fig. 2)。一部精子が混入していたことより、精液瘤と考えられた。リンパ管との交通を疑い、確認のため精液瘤の造影が必要と考えられたが、患者の同意がえられず施行できなかった。

以上の所見より、コレステリン結晶を含む精液瘤と診断した。患者の希望もあり、根治術を施行せず、外来にて経過観察中である。

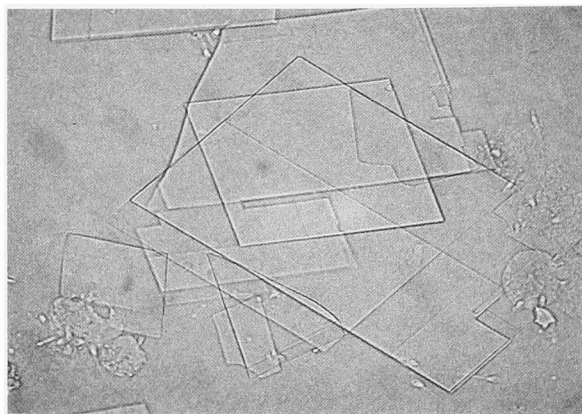


Fig. 2. Microscopic examination revealed cholesterol crystals in aspirated fluid ($\times 400$).

考 察

精液瘤は外来診療中に比較的良好に見受けられる疾患であり、発生機序は明確でないものの、精巣網に接触した管腫あるいは精巣、副精巣の上極に嚢胞状構造部から発生する停滞嚢胞と考えられている¹⁾。陰嚢内腫瘍の穿刺液内に、結晶が含まれることは稀とされており、われわれが調べた限り、コレステリン結晶を含有した陰嚢水腫は過去に2例の報告があるものの^{2,3)}、精液瘤は見当たらない。コレステリン結晶含有の精液瘤は、本例が本邦1例目と考えられた。

コレステリン結晶は、陰嚢水腫に伴う場合、画像的には超音波検査で高信号を呈することが特徴とされる⁴⁾。本症例も前記したように、陰嚢水腫の報告と同様に高信号を呈していた。

コレステリン結晶が形成される機序として、1) 腎嚢胞内⁵⁾もしくは陰嚢内の出血^{2,3)}に、慢性炎症が併発して、血球内部のコレステリンが析出したためと考える説、2) 尿中もしくは、胸水中のコレステリン結晶は、リンパ系との異常な連絡 (chylous fistula) が存在するときに発生するとする説^{6,7)}、以上2つの説が考えられる。

本例は、出血の既往、著しい炎症所見が無かったことより、1) の機序は否定的である。2) に関しては、残念ながら患者の同意がえられず精液瘤の造影が施行できなかったため、リンパ系との交通は未確認であるが、残された機序として、最も可能性が高いと考えられた。また、精液が主である精巣上体嚢胞の穿刺液は高いコレステロール値を示すことも報告されており⁸⁾、本症例に見られた精液の混入もコレステリン結晶の形成に関与している可能性が考えられた。

結 語

コレステリン結晶を含んだ精液瘤を経験し、若干の文献的考察を加えて報告した。

文 献

- 1) 熊澤浄一：新泌尿器科学。陰嚢内腫瘍。熊澤浄一。第1版，pp 173-179，南山堂，東京，1986
- 2) 井勢田徳宏，寺本好告，村上雅巳，ほか：コレステリン結晶含有陰嚢水腫の1例。西日泌尿 **58**：426-427，1996
- 3) 大橋英行：内容液にコレステリン結晶を含有する陰嚢水腫の1例。埼玉医会誌 **32**：1293，1996
- 4) Gooding GA, Leonhardt WC, Marshall G, et al.: Cholesterol crystals in hydroceles: sonographic detection and possible significance. Am J Roentgenol **169**: 527-529, 1997
- 5) 前田信之，岩崎 明，森 義則，ほか：透析中の嚢胞腎患者にみられたコレステリン肉芽腫の1例。泌尿紀要 **39**：557-559，1993
- 6) 長浜大輔：尿沈渣。その他の結晶。第3，pp 63-65，文光堂，東京，1991
- 7) 吉利和：内科診断学。呼吸器疾患の診断Ⅲ。吉利和編。第6版，pp 301-324，金芳堂，京都，1990
- 8) Cooper TG, Raczek S, Yeung CH, et al.: Composition of fluids obtained from human epididymal cysts. Urol Res **20**: 275-280, 1992

(Received on September 6, 2002)

(Accepted on December 17, 2002)